

シエスタ BeBe

** 【禁忌・禁止】

- ・体重 1.5～15 kg の児を対象として設計されているので、対象以外には使用しないこと。[体動検出が出来なくなる可能性があるため。]
- ・設置場所は、誤動作防止の為、空調などの風が直接に当たるか、または機械的な振動のある場所に設置しないこと。[体動検出が出来なくなる可能性があるため。]
- ・複数台のベビーコットを使用する際は、互いに影響を与えないよう、ベビーコット同士が触れたり、重なり合うような設置はしないこと。[体動検出が出来なくなる可能性があるため。]

** 【形状・構造及び原理等】

**1.概要

本品は、センサマット内のセンサにより、新生児、乳幼児（以下「児」という。）の体動を連続的に監視し、体動が検出される毎に検出ランプを点滅させる。体動が 20 秒間検出されないとき、警報ランプが点滅すると同時に警報音を発する。
 本品は、センサの感度を 16 段階に自動調整するオートゲインコントロール（AGC）が搭載されている種類と、搭載されていない種類がある。本品が正常に動作しているかを監視するウォッチドッグタイマ（WDT）が搭載されている。
 本品は、電池容量が低下すると電池容量低下ランプが点滅し警報音を発する、電池容量低下警報が搭載されている。
 本品の種類は、無線通信機能なしタイプが 2 種類と無線機能付きタイプが 1 種類ある。

種類	無線通信 機能なし タイプ-1	無線通信 機能付き タイプ	無線通信 機能なし タイプ-2
製品番号	MME009	MME013	MME018
対象体重	1.5～15kg	1.5～15kg	1.5～9kg
電池容量 低下警報	あり		
AGC	あり		なし
WDT	あり		

2.構成部品と種類

本品は、モニタ本体及び付属品より構成される。

- (1) モニタ本体
- (2) センサマット
- (3) 付属品 ハンガーフック



**3. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類	内部電源機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	BF 形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度による分類	IPX0
空気・可燃性麻酔ガス、または酸素、または亜鉛化酸素・可燃性麻酔ガスのある中での使用の安全の程度による分類	空気・可燃性麻酔ガス、または酸素、または亜鉛化酸素・可燃性麻酔ガス中での使用に適しない機器
作動（運転）モードによる分類	連続作動（運転）機器

4. 電気的定格

電源電圧	定格 DC 6V、許容変動範囲 DC4V～7V
電源入力	単三形アルカリ乾電池 1.5V×4

【使用目的又は効果】

本品は、児の体動を検出し、体動が 20 秒間検出されないと、警報ランプと警報音により通知する機器である。

**、* 【使用方法等】

1. 準備、設置

1) 電池のセット

モニタ本体の電池カバーを外して、極性を間違えないように単三形アルカリ乾電池 4 本を装着する。
 なお、電池を交換するときは、必ず ON/OFF スイッチで電源を切ってから行うこと。

**2) センサマットの据付け

「この面を上にしてください」の表記がある面を上に向けてベビーコット（又はベビーベッド）の底部にセンサマットを置く。また、この表記がある位置を児の頭側とする。その後、ベビーコット（又はベビーベッド）の内寸より小さいマットレスや布団などをセンサマットの上に密着させて敷く。

**3) モニタ本体の取付け

モニタ本体をハンガーフックによりベビーコット（又はベビーベッド）の縁などに引っ掛けて、使用者が見易いように取付ける。

**4) 接続ケーブルの接続

センサマットの接続ケーブル先端のジャックをモニタ本体のセンサマット接続口にしっかり差し込む。
 接続ケーブルは児に触れることがないように、ベビーコット（又はベビーベッド）の内壁に這わせておく。

2. 操作、使用方法

**1) 電源の ON/OFF

ON/OFF スイッチを 1 回押すと、操作確認音が鳴るとともに「マクロ体動検出ランプ（青色）」が点灯し、電源が入って体動検出モードになる。
 ON/OFF スイッチを 2 秒以上長押しすると、操作確認音が鳴るとともに「電池容量低下ランプ（赤色）」が点灯し、電源が切れる。

**2) 体動検出モード

体動を検出するごとに「マクロ体動検出ランプ（青色）」が点滅する。モニタ開始直後は児の動きに応じてこのランプが点滅するのを確認する。

3) 無体動警報

判定時間 20 秒が経過すると直ちに「警報ランプ（赤色）」が点滅し、同時に警報音が鳴る。警報は電源を切ることで解除される。
 本品を再使用する場合は、電源を ON にする。

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

4) 電池容量低下警報

電池容量が低下すると、「電池容量低下ランプ（赤色）」が点滅し、警報音が鳴る。このとき、電源を OFF にしてから乾電池 4 本をすべて新しいものと取り替える。本品を再使用する場合は電源を ON にする。

5) 自動抱き戻し検出

児が授乳や沐浴などにより離床する場合は、「抱上げスイッチ」を押す。このとき、操作確認音とともに体動検出モード及び無体動警報は一時的に作動停止状態になる。この状態で、児が再び着床すると操作確認音が鳴り、自動的に体動検出モードに復帰し、同時に無体動警報の一時作動停止は解除される。

***【使用上の注意】**

＜重要な基本的注意＞

- 1) 使用中に無体動警報が作動し、児の異常を発見した場合には、直ちに医師に連絡し、医師の指示に従い必要かつ適切な処置を取ること。
- 2) 警報音を発するブザー部を覆い、警報音を小さくしないこと。また、使用中は警報音を確認できる位置から離れないこと。
- 3) 使用前に必ず取扱説明書に記載されている作動確認を行い、正常かつ安全に作動することを確認すること。
- 4) センサマット接続ケーブルをできる限り児に触れないように配置すること。
- 5) センサマット接続ケーブルを引っ張ったり、無理な力をかけないこと。
- 6) モニタ本体及びセンサマットを運搬する際、落としたり衝撃を加えないこと。

***【保管方法および有効期間等】**

＜保管方法＞

- 1) 直射日光を避け、最適な温度湿度の下、製品梱包箱に収納して清潔な場所に保管すること。
保管温度範囲：0～40℃
保管湿度範囲：10～90%RH
- 2) 水のかからない場所に保管すること。
- 3) 振動、衝撃（運搬時を含む）などの悪影響を受けるおそれのないところに保管すること。
- 4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所には保管しないこと。
- 5) 長期間使用しないときは、乾電池の液漏れを避けるため、4 本全ての乾電池をモニタ本体から取り出しておくこと。
- 6) センサマットは、印刷面を上に向けて、カバーにしわがでないように保管すること。また、その上にものを載せないこと。ただし、専用箱で重ねて保管する際は 5 台以内とする。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後の手入れ、保管

- 1) モニタ本体及びセンサマットが汚れたときは、消毒用アルコールを使って柔らかな布で拭き取ること。
- 2) 長期間使用しないとき、乾電池の液漏れによる故障を避けるため、乾電池 4 本すべてを取りはずすこと。

2. 本品は納入日より 3 年後に初回の点検を行うこと。
お買い上げ販売店にご連絡ください。

***【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：グローバルマイクロニクス株式会社

電話：04-7143-8389 Fax：04-7143-8050

販売業者(販売店)

グローバル電子株式会社 〒162-0833 東京都新宿区笹岡町 35 番地 日米 TIME 24 ビル TEL (03)-3260-1107

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。
